



THE MARIANAS

公式名称：
北マリアナ諸島連邦

島の数：14

首都の島：サイパン

面積：184平方マイル（477平方キロメートル）

人口：47,000人（2020年国勢調査）

人口統計（2020年国勢調査）：
チャモロ人／カロリン人／太平洋諸島民 44%、
アジア人 47%（韓国人、日本人、
フィリピン人など）、その他 9%

公用語：チャモロ語、カロリニアン語、英語



地理

マリアナ諸島は、西太平洋に位置する14のサンゴ隆起島と火山島であり、マリアナ海溝の沿岸に位置しています。この海溝は地球上で最も深い場所です。マリアナ諸島は日本の南、そして韓国と中国の東南にあります。海岸線には白い砂浜や黒い砂浜、荒々しい崖があり、内陸には豊かな森林が広がっています。サイパンなどの一部の島では、浅く透明なラグーンを取り囲むフリンジングサンゴ礁が見られ、泳ぎやシュノーケリングには最適です。

歴史

北マリアナ諸島は約4000年前に古代の航海民族であるチャモロ族の祖先によって初めて定住されました。1521年、スペインの探検家フェルディナンド・マゼランが世界一周航海中に諸島を発見しました。1668年、スペインによって植民地化されましたが、植民地化への抵抗やカトリックへの強制改宗、外来病により、チャモロ人口は推定で40,000人から1,500人に激減しました。1815年、カロリン諸島南部のアグラブ酋長とニュシュル酋長がスペイン政府の許可のもとでカロリン人が移住しました。1899年から1914年までドイツが領有し、第一次世界大戦後の1914年に、日本はこれらの島々を占領し、繁栄するサトウキビ経済を発展させました。第二次世界大戦中の1944年にアメリカ軍が諸島を制圧しました。1947年に国際連合信託統治下に置かれたこの島々では、1978年からアメリカとの政治連合を持つ自治領としての地位を選択することに人々が投票しました。

文化

マリアナ諸島の先住民はチャモロ人とカロリン人です。初期の西洋の年代記によれば、チャモロ人は日常生活の道具作りにおいて創意工夫に富んでいるとされています。彼らのアウトリガーカヌーである「プロア」は当時見られた中で最も速い船として知られていました。ラッテストーンと呼ばれる大きな石灰岩のモノリスは、古代チャモロ人が建物の支柱として使用していました。これらの石は、いくつかが最大で70トンに達するものもありますが、今日でもマリアナ諸島全体で見ることができます。

カロリン人の中では、星、太陽、月に基づく遠洋を渡る天文航海の神聖な知識を含む他の自然現象に基づく航海技術が、世代を超えて受け継がれてきました。この神聖な天文航海の知識は現代において復活し、マリアナ諸島、ミクロネシア、ポリネシアなどを超えて、先住民の海事技術が再び活性化されています。両文化においては、農業と漁業が広く行われ、家族の絆と自然との調和が重要な価値観として今もなお尊ばれています。

